



イラスト「龍の樓家」 TERA

今年もお盆の季節となりました。檀信徒の皆様には、ご本尊様やご先祖様方へ信仰と護持のお心をお寄せ頂きまして、ご清祥のことと存じます。

薬王院は、平安初期桓武天皇の勅願により天台宗祖伝教大師様が開創し、お隣の吉田神社様の神宮寺として、その時代の領主の帰依と護持を頂き、祈願所として歩んできた寺でした。今日では、寺墓地の方、薬王院の支院がありました笠原不動院墓地や吉沼阿弥陀院墓地、市営浜見台霊園、地区町内の共同墓地など、広範囲な檀信徒の方々に寺を支えて頂き、誠に有難いことと存じます。

この度の「震災復興事業」では、七月一日現在七四五名の方々より、協賛額四五七三万円余のご芳志を頂きました。誠に有難く御礼を申し上げます。お陰様で、水戸市文化財「四脚門瓦葺き替え工事」を残すのみとなりました。震災等の影響で補助金申請が平成二十八年度の予算となり、工事予定が延びております。事業のご報告など来年末

薬王院誌報 七号

瑠璃光

平成二十七年 夏号

目次

- 一、住職挨拶 一頁
- 二、護持役員会（総代・世話人会） 二頁
- 三、行事開催のご報告 三頁
- 四、お知らせ 六頁

先徳の心を伝える

薬王院住職 中村純亮

お待ちしております。

さて、天台宗では平成二十四年より十年間の「祖師先徳鑽仰大法会」記念事業の二期目となり、比叡山の総本堂「国宝根本中堂」は昭和三十年の大修理より、大屋根、柱など傷みがひどく、来年より十年を要して、総工費約五十億の大修理を行います。

根本中堂のご本尊様は、伝教大師自刻の薬師如来様で、薬王院のご本尊は、ご本山にならって祀られました。不滅の法燈を祀る伝教大師様のお心を伝える根本中堂をどうぞ皆様も護持下さいますよう何卒お願いを申し上げます。来年のお盆には皆様のご芳志を頂きたく合わせてお願い致します。

現在の根本中堂は本年で見納めになります。秋の本山参拝会で参拝をしてまいります。

古来より日本人は、自然に畏敬の念と神仏尊崇の心を、宗教儀礼などを通じて次の世代へ伝えてきました。

「ああ有難の瑠璃光仏

求むる心に影向し

応病与薬医王尊

慈悲の護念を垂れ給え」

と御詠歌に謡われています様に、薬師様をはじめ仏様方は、私達が仏心を起して念じお願いすれば、災いを除き、福を招くご縁を下さいます。ご先祖様

もまた同様にお守り下さいます。

どうぞ、大切に伝えられてきましたお盆やお彼岸を機縁として、良いご縁を頂かれますよう墓参・ご参拝のご来寺をお待ち申し上げます。

合掌

◆ 会長 挨拶

護持役員会会長

加藤 高藏



皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より皆様方には、薬王院護持活動に多大なご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

前半の各行事も順調に推移しており、四月の七年に一度のご開帳が行われました善光寺参拝旅行には多くの皆様にご参加頂き、まことに有難うございました。五月二十三日土曜日に行われしました「薬師如来示現会・御田植祭」の厳修も皆様方のご協力により、滞りなく終了いたしました。ご本尊である薬師如来様のお姿を拝し、私達檀信徒の諸願成就と心の安寧が得られたものご心から感謝しております。

当日は示現会が行われました本堂において古典芸能士・久駒様による三味線奉納がございました。地歌・小唄・都々逸、磯節など多彩な芸をご披露していただき、古来からの日本の伝統文化を堪能いたしました。九十歳近いお歳とは思えない張りがあり艶がある声に思わず聞き惚れてしまいました。薬師如来様もさぞかしお喜びになったものと推察いたしました。また来年も新しい催しを企画いたしますのでどうぞご家族一緒にお出掛けください。



古典芸能士 久駒様

後半は、お盆、秋の彼岸会等各仏事、比叡山参拝旅行などが予定されており、事務局をはじめ役員一同が手伝いさせていただきますので、皆様方のご参加をよろしくお願いいたします。さて、皆様におねがいしております。た震災復興整備事業協賛の件でございますが、お陰様をもちまして目標額の四千万円を上回ることができました。

ご自身の墓地も被災にあわれた状況のなかで、お力添えに心から感謝申し上げます。誠に有難うございました。追って詳細については皆様にご報告いたしますので、よろしくお願いいたします。

結びに薬王院の益々の発展と檀信徒の皆様方のご健勝とご多幸を祈念し、挨拶といたします。 謹白

護持役員会名 (敬称略)

寺の檀信徒の代表である総代・世話人会・護持役員会は現在四十一名の方々により、御田植祭・お盆・お彼岸などの寺の事業・行事の運営にご協力を頂いております。

- 顧問 笹沼 雪子
- 会長 加藤 高藏
- 副会長 大川 洋一
- 同 打越 芳男
- 同 笹沼 隆史
- 事務局長 飯村 義雄
- 事務局 岡野 博親
- 同 川崎 次男
- 同 照山 洋
- 監事 荻原 徹夫
- 同 井坂 照夫
- 総代 庄司 みね
- 同 海老沢忠明
- 同 遠西 達男
- 同 小室 貞夫

総代

山野内五郎

世話人

吉田 仁

中村 まさ

村井 京子

笠井 紀子

佐藤 安彦

山野内吉明

加藤 正蔵

荻原 昭三

荘司 一徳

田口 文明

沼尻 久

皆川 憲弘

渡辺 政明

鈴木 久

三村甚三郎

五十嵐達太資

堀江 富雄

鈴木 薫

菊池 三郎

栗原 明

栗原 義弘

伊藤 興一

笹沼 浩一

加藤 美嗣

小室 昌一

物故護持役員

*仏果円満を念じます

故 大津 和一 様

故 本田 昭成 様

行事開催のご報告

① 仏教青年会法要

平成二十六年十月十六日茨城天台仏教青年会では創立五十周年を迎え、ご本山・全国青年会・県内住職各役員随喜のもと、薬王院本堂に於いて記念法要を厳修致しました。お釈迦様要諦の教えを説いた「妙法蓮華経」の経巻を読経の十種類のお供物を供え讃える法要でした。



茨城天台仏教青年会創立50周年記念法要 於 薬王院

② 比叡山参拝会

平成二十六年十一月十一日比叡山にて、参加者各精霊の御回向法要、伝教

大師様御廟浄土院を参拝。翌朝根本中堂でお勤め、朝食後、参加者が守護仏を授かる「結縁灌頂法要」を頂き、下山。もう一つの参拝主眼である青蓮院様へ参りました。

薬王院本寺の青蓮院門跡様では、境内將軍塚のお山に国宝「青不動明王」をお祀りする青龍殿が落成し、特別御開帳の中、ご祈願を頂きました。平安神宮を望む清水寺以上の大舞台や庭園もまた見事です。京都にいらした時は是非お立ち寄り下さい。

尚本年の比叡山参拝会は、十一月十六日十八日に実施いたします。ご一緒に参拝致しましょう。

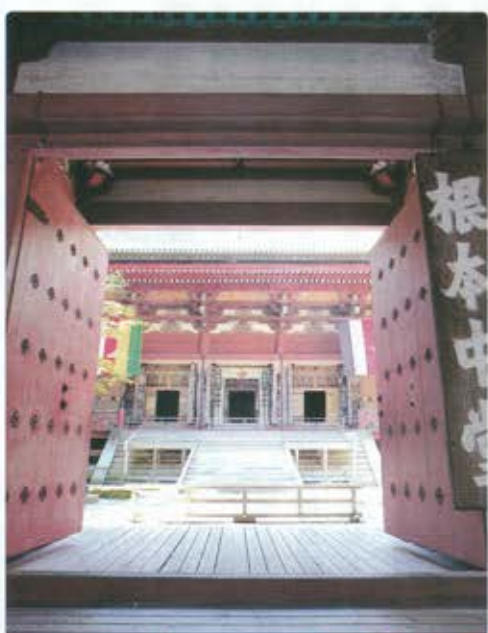


薬王院比叡山延暦寺参拝会 於 青蓮院門跡・青龍殿前

天台宗総本山 比叡山延暦寺

国宝根本中堂大改修

国宝の根本中堂ならびに重要文化財の講堂を平成二十八年度から約十年をかけ大改修いたします



③ 佛性寺落慶法要

四月七日 水戸市栗崎町の佛性寺様では、大震災により国指定文化財「本堂八角堂」が被災し、文化庁指導のもと茨城県・水戸市・寺と檀家の方々の連携ご精進により三ヶ年に亘る全面解体修理が行われました。震災前以上の荘厳なお堂が落成した慶祝法要が厳修されました。

薬王院とは、江戸時代よりご縁が深く、当日は部内御住職式衆のもと、お導師を勤めさせて頂きました。



將軍塚青龍殿 後ろに京都市内を望む大舞台

④ 灌佛会「花まつり」



佛性寺本堂八角堂落慶記念



花 御 堂

四月八日は、お釈迦様ご生誕を祝う報恩行事です。お母様マヤ夫人が、伴を連れ、ご実家に帰る途中、ルンビニー苑にお休みの時お生まれになられ、天地自然がお喜びになられ、甘露の雨を降いだ故事から灌仏会と申します。降

⑤ 善光寺御開帳参拝

善光寺様は、かつて寺の維持の為、全国の寺を拠点に浄財勧募をされた時代があり、薬王院にもご本尊「一光三尊善光寺如来」の分身をお預かりしています。そのご縁により七年に一度毎ご案内を頂き、四月十三日には善光寺御開帳に参拝、ご回向を頂きました。翌日は、現天台座主半田大僧正殿下のご実家常樂寺・北向き観音様に参拝してまいりました。



善光寺御開帳参拝会

⑥ 薬師如来示現会 御田植祭

五月二十三日午後四時からご本尊薬師如来様ご開帳のもと、ご志納頂きました皆様の祈願法要を厳修致しました。有縁のご寺院様に式衆をお勤め頂き、薬師供・護摩供・毘沙門供の密教修法のもと聲明と読経が堂内に満ちて皆様の諸願成就・復興と五穀豊穡をご祈願致しました。



法要開始の法螺



御詠歌の奉詠



薬師如来密供



年一度の御開帳



薬師護摩供



毘沙門天密供 (手前)

古典芸能士久駒様には三味線をご奉納頂き、永年に亘りご精進されたお声には、とても八十余歳とは思えない、迫力のある三味線とお声のハーモニーを感じ、参拝聴衆も聞きほれていました。さぞ、薬師如来様も笑みがほころんでいたことでしょう。

来年も五月第四土曜日に開催致します。どうぞご来寺をお待ちしております。



本堂と献灯あんどん

境内には子供さんのあんどんと大人の方には献灯ちようちんをお供え頂き、華やかかつ厳かにして頂きました。

編集後記

先徳の心を伝えるとは、仏様、お祖師様、ご先祖様のご意志を次の世代に伝えて頂く事です。お盆やお彼岸等を通じて、ご家族で話し、継承して頂きたいと存じます。宗教儀礼による祈りが手助けとなり、ご先祖様の心を継承し、円満・安心の心が培養される事でしょう。

仏様はいつも私たちを見つめておられます。その慈しみのみ心は、広く清らかで光輝いています。どうぞ祈りの機会を大切にお過ごし下さい。

合掌



花束の贈呈

お知らせ

◆ お盆ご納金のご案内

同封の郵便振替用紙に、金額等をご記入の上、ご納金下さい。なるべく、八月五日までにご協力をお願いします。

◆ 檀徒護持費

檀徒護持費は、寺の運営維持を支えて頂く浄財です。

檀信徒全員 年額 一万円

◆ 御盆行事

① 新盆供養会

新盆をお迎える檀徒の方と一緒に各家ご精霊のお塔婆を供養し、ご冥福と仏果円満をご回向します。当日はお施主様又は代理の方がご出席下さい。法要後、お塔婆とお供物などをお渡しします。

□ 期 日 八月十三日

□ 時 間 午前十時三十分～正午

□ 場 所 薬王院回向堂
同書院(控室)

□ お布施 三万円見当

当日ご持参の方は、受付にお渡し下さい。尚、同封の郵便振替用紙にて前納下されれば幸いです。

□ お申込みについて

同封の申込ハガキに出欠事項をご記入頂き、七月末までにご返信下さい。

ハガキには追加塔婆の欄があります。施主名(代表者)で一本お書きしますが、更にご希望の方はご記入下さい。

追加一本に付一万円

□ 付 記

当日は、お供え物をご持参頂き、受付をすませ、ご法要にご出席下さい。又、墓参の方で駐車等混み合いますので、お早めにご来寺下さい。

欠席の場合は、十月末日までお塔婆を保管しておきますので、お受取にご来寺下さい。



施 餓 鬼 法 要

② 御施餓鬼会

新盆を除く檀信徒全員

□ 期 日 八月十五日

□ 時 間 午前十時三十分～正午

□ 場 所 薬王院回向堂
同書院 控室

□ 施餓鬼会のお塔婆

お申込いたたく施餓鬼会のお塔婆は、ご先祖や亡き方へ、年に一度の近況と安心を伝えるお便りと思ひ、お申込下さい。一本に付 一万円



施 餓 鬼 壇

□ お申込みについて

お申込の塔婆本数が増え準備の日数を要しますため、既に書き始めております。

毎年お申込の方には、振替用紙に記入されております。

新たにお申込の方又は変更の方は、同封の専用ハガキにご記入の上、切手をはり、八月五日必着でお申込下さい。書落しをなくすため、なるべく毎年申込とご記入下さい。

□ お塔婆のお受け取りについて

必ずご本人又はご家族が墓地にお建て下さい。寺で建てることは致しません。八月十五日法要後は、十月末まで寺で保管いたします。ご予約を組んでいただきご来寺下さい。何卒ご協力をお願いします。

※ 焼却ご協力をお願い

境内のゴミ等の焼却が、法令により、焼却不可能となってきました。お位牌・お塔婆は何か法令の焼却範囲のようです。

境内が広いので、樹木の枝、枯れ葉、草などの処理にも工夫しております。墓参で自参のペットボトル・包み紙などは、お持ち帰り下さいませ。

お盆やお彼岸後、盆提灯やお供え物などお持ち込みがないように、ご協力をお願いします。

◆ ご住所・電話等の変更は必ずお申出下さい。代表名の変更は寺の届出用紙にてお願いします。

天台宗 吉田山 薬王院

〒三二〇〇八三六

茨城県水戸市元吉田町六八二

電 話 (〇二九)二四七二六二六

F A X (〇二九)二四八三三五〇